

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりするとみられるが、県経済の好調さは観光業を中心に引き続き堅持される。
	◎	乗用車販売店（営業担当）	・全国旅行支援が始まり、沖縄の観光業の景気が良くなるため車両購入も増えると予想している。
	◎	その他専門店〔陶器〕（製造）	・年末年始の観光客が増える。また、陶器においては年末年始は売上がとても良い時期である。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルス感染症対策として、飲み薬もできているため、今後景気が上向きになるとみている。
	○	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は年末年始にかけて多くなるとみているが、前年ほどの行動制限がないため、1月の商況に期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・近隣でホテルの建設が増加してきているので、観光客の増加が予想され、今後、人の動きが活発になるとみている。
	○	コンビニ（副店長）	・クルーズ船や国際線のデیلیー運航、全国旅行支援の延長発表は期待できるが、年明けの全国旅行支援の詳細が不透明な部分が懸念される。また国民にとって支援ありきの旅行が平準化しないか心配でもある。ある年度までは閑散時期に支援事業を続けてほしい。
	○	衣料品専門店（経営者）	・全国旅行支援の継続や円高が進めば、この状況が続くのかとみている。
	○	家電量販店（営業担当）	・引き続き平均単価の上昇が見込まれる。
	○	一般レストラン（代表者）	・12月は繁忙期に入るため期待できるが、1月は逆に落ち着くだろう。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響も小さくなり春商戦に向けて景気は良くなってくると期待している。引き続き店舗外の営業も強化し、待っているだけではなく積極的な展開を図っていく。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注は2019年と同等の状況が続いており、回復感が高い。特に直近は個人客の動きが活発で下支えしている。
	□	スーパー（企画担当）	・物価高騰により1品単価は上がっているが、客の1人当たりの買上点数は落ち込んでいる。来客数自体は少しずつ良くなっているが、買上点数が伸びないため、しばらくはこの状態が続くと考えている。
	□	スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルスによる行動制限がなければ、単価アップによる景気は続くと考えられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月はあらゆる物の値上がりの影響か、弊店の商材への客の反応は良くない。また来月に期待したいが、景気は良くなる気配はない。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・円安の影響はまだ直接には感じないが、社会全体の空気感から高額商品の買い控えにつながるものが心配である。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊部門は予約が伸び悩んでいる。料飲部門も同様に横ばいの状態である。年明けの全国旅行支援の効果や飲食に関する新たな施策に期待したい。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・全国旅行支援があってもなくても旅行に行く人は行く、行かない人は行かないとはっきりしているため、新型コロナウイルス感染症による規制が掛からない限り少しずつ需要は回復するが時間が掛かる。一時的な支援はみな一喜一憂してしまうので、その反動で需要が下がらないか心配である。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・消費者は、食料品やガソリンなど生活必需品の物価上昇への対応が最優先事項であり、住宅購入については慎重姿勢になるとみている。
□	住宅販売会社（役員）	・分譲マンションや新築戸建て住宅の販売状況は良くなっているが、建築費の高騰が相変わらず継続しており、今後の需給の足かせとなるのではないかと。	
▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの11月の販売室数は前年比124%増加なのに対し、11月末時点での2月の予約室数は前年比10%増加と、プラス幅が小さくなっている。	
×	商店街（代表者）	・ほんの僅かな一握りの店は少しだけ良くなっているという話もあるが、全体的にはここ3か月でも、まだ悪い店の方が多いのではないかと。	

	×	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	・年末年始にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響でここ2年 余り自国に帰れなかった外国人労働者が今年は里帰りを予定してお り、店舗によっては5～6人が1か月店舗にいない状態になる。ま た、新型コロナウイルスにまつわる規制解除後から求人への応募が 全くなく、時給も大幅に上がっている。客は取りたいが人手不足で 手が回らず、既に入店規制をしながらでないと営業が続けられない 状態にある。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業 (役員)	・電気料金の値上げが危惧されるが、足元では原油価格の高騰も落 ち着きつつあり、為替レートも徐々に円高傾向に推移しており、全 体としては生産者物価指数の上昇も落ち着いてくることを期待して いる。
	○	輸送業 (代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては、石垣島の陸 上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門でもホテル関連で回復し ている。新型コロナウイルス感染状況も沈静化し、観光関連に盛り 上がりが見られる。
	□	建設業 (経営者)	・契約に結び付く、見込み度の高い打合せ案件が少ない。
	□	広告代理店 (営業担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着き、国内観光が動き 出したことで県内景気は活気が出てきている。ところが、物価高騰 による一般消費の先行きが不透明で、かつ原料の価格高騰のあおり も重なり、県内企業の販促活動は未知数である。
	□	会計事務所 (所長)	・年末年始の購買力に期待できるが、物価上昇が急激で不安要素が ある。
	▲	窯業土石業 (取締役)	・原材料価格の高騰に加えエネルギーコストも上昇しているが、価 格転嫁が追い付かない状況であり、収益圧迫を懸念している。
	▲	輸送業 (経営企画室)	・那覇空港国際線の復便等で観光産業が盛り上がりを見せ、沖縄か らの肉類の輸出量が過去最高を記録する等、一部の業種への明るい ニュースもあるが電気料金値上げで企業、一般家庭への経済的な圧 迫による景気の悪化が懸念される。
×	—	—	
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社 (営 業担当)	・観光関連や飲食関連の求人数が増加している。
	○	職業安定所 (職員)	・特に観光関係で、年末に向けて採用活動が活発になってきてい る。
	○	学校 [専門学校] (就職 担当)	・年が明けると2024卒生の採用活動が本格的に始まるが、ウィズコ ロナに向け多くの企業が新型コロナウイルス感染症発生前の状況に 戻すべく採用活動を進めてくるとみられる。そうすると、求人数が 増えてくる可能性があるため、やや良くなると回答している。
	□	人材派遣会社 (総務担 当)	・物価の上昇、電気料金の値上げ等、年末年始の人の流れによる新 型コロナウイルスの新規感染者数増加等で景気は改善しない。
	□	学校 [大学] (就職支援 担当)	・新型コロナウイルス感染症、社会情勢、円安などマイナス要因が しばらく続くとみられる。
	▲	求人情報誌製作会社 (営 業)	・求人数は年末に向けて減少し、年明け1月の増加を見込んでい る。コロナ禍以降、増減を繰り返しながら緩やかに回復し新型コ ロナウイルス発生以前の8割程度まで回復してきている。
×	—	—	